



アマチュアオーケストラ

新交響楽団 第262回演奏会

The New Symphony Orchestra – 262nd Concert

指揮 **中田 延亮**

NAKATA Nobuaki, conductor

トゥリーナ

Joaquín TURINA (1882-1949)

幻想的舞曲集

Danzas fantásticas (Fantastic Dances), Op. 22, 1920

伊福部 昭

IFUKUBE Akira (1914-2006)

シンフォニア・タプカーラ (1979年改訂版)

Sinfonia Tapkaara, 1954 (rev. 1979)

フアリャ

Manuel de FALLA (1876-1946)

バレエ音楽「三角帽子」全曲

Ballet music "El sombrero de tres picos (The Three-Cornered Hat)", 1917

メゾソプラノ **杉山 由紀** SUGIYAMA Yuki, mezzo soprano

Design: IMAO Keisuke

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

13:00 開場

2023年7月17日 (月祝) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演

Monday, July 17, 2023, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

入場料 S席: ¥3,000 A席: ¥2,000 (全席指定)

チケットのお申し込み: teket <https://teket.jp/3558/19521> このQRコードをご利用ください→

インターネットを利用されない方は 080-9010-0058 (留守電にメッセージを入れてください)

プレイガイド: チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード: 234999

東京芸術劇場ボックスオフィス (1階) 休館日を除く 10:00~19:00 0570-010-296



*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください (予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyo.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

今注目の指揮者 中田 延亮

中田は1975年京都に生まれ、筑波大学医学専門学群（他大学の医学部にあたる）に進みました。在学中に音楽を志し、桐朋学園を経て新日本フィルハーモニー交響楽団の首席コントラバス奏者として演奏する傍ら、指揮の研鑽を積むという異色の経歴です。2006年からバレンシア歌劇場管弦楽団に在籍、その後もスペインを拠点に指揮者として活動していました。

日本人作曲家の作品に取り組んでいきたいという中田との初共演には、新響が大切な作品として度々演奏している伊福部昭の「シンフォニア・タプカーラ」と、スペインの作曲家ファリャの代表作「三角帽子」を選びました。

日本の民族主義的作曲家 伊福部 昭

伊福部昭は北海道釧路に生まれ、小学生のときに父親が村長になった音更村（現在の十勝地方音更町）に移り住み、アイヌに接しました。タプカーラとはアイヌ語で「立って踊る」といった意味で、喜びの時も悲しい時も、その心情の赴くまま即興の詩を歌い延々と踊るアイヌの人々への共感と思いが「シンフォニア・タプカーラ」の動機となっています。

北海道帝国大学で林学を学び、卒業後も林務官として勤務する傍ら作曲を続け、ほぼ独学で作曲家となりました。その後は管弦楽作品の他に「ゴジラ」などの映画音楽を残し、また教育者として多くの作曲家を育てました。当団創立指揮者の芥川也寸志も弟子の一人で、新響は伊福部作品を幾度となく取り上げ、その際の作曲家立ち合いのリハーサルは当時の団員の良い思い出となっています。

スペインの民族主義的作曲家 ファリャとトゥリーナ

バレエ「三角帽子」「恋は魔術師」などで知られるファリャはスペインの作曲家。アンダルシア地方のフラメンコに大いに影響を受け、マドリードで活動をした後にパリに7年間ほど滞在しデュカやラヴェルと交流を持ちました。ちょうど同じ頃にマドリードからパリに留学していたのが6歳違いのトゥリーナでした。2人は親友で、ともにスペイン民族的な音楽にフランス印象派が混在した作品を残しました。

「三角帽子」は、美人の粉屋の女房を気に入った代官が、手を出そうと言いつけるが、かわされて逃げていくというお話。ここでいう三角帽子はパーティで使うようなとんがり帽でなく、大きなツバに3つ角がある帽子で代官の権威の象徴なのです。

どうぞお楽しみに！（H.O.）

ご来場いただくお客様へ（新型コロナウイルス感染症対策）

当日は平熱と比べ高い発熱、咳・のどの痛み・倦怠感等の体調不良がある方はご来場をお控えください。咳エチケットや手洗い、手指消毒をお願いします。ほかの人との距離を確保し、大きな声での会話はお控えください。

詳しくはホームページにて注意事項や公演の最新情報をご確認ください。これらのお願い事項につきましては、状況により変更になる場合がありますので、ご了承ください。

今後の演奏会予定

<第263回演奏会>

2023年10月9日（月祝）14時 東京芸術劇場

指揮 坂入健司郎

曲目 ショスタコーヴィチ/バレエ組曲「黄金時代」、交響曲第9番、交響曲第12番

<第264回演奏会>

2024年1月8日（月祝）14時 東京芸術劇場

指揮 寺岡 清高

曲目 マーラー/交響曲第10番（クック版）全曲 他

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・芥川也寸志（1925-89）の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展（1976年にサントリー音楽賞を受賞）、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ（山田一雄指揮、1979-90）、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏（石井眞木指揮、1993）、伊福部昭米寿記念演奏会（2002）、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演（高関健指揮、2004）、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演（飯守泰次郎指揮、2006）など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ～良いお席を安く～

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券（どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能）を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座：00130-0-28074「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail：shinkyo@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時～9時、東京芸術劇場（池袋）、クラシック・スペース☆100（大久保）他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、施設内の託児室をご利用いただけます。土日祝日を除く公演日一週間前までにご予約ください。対象年齢：生後3ヵ月から小学校入学前、1公演あたり2,200円（税込）お問合せ：株式会社ミラクス ミラクスシッター、電話0120-415-306（平日9:00～17:00、土日祝日休み）